

# 自然との共生を目指す取り組み

## 里山林機能回復整備事業

NPOやボランティア団体などの協力を得ながら、都市住民が身近に接することのできる里山林の機能や景観を回復するための森林整備を進めます。

整備実施箇所数 (H18~20)

57 箇所

整備実施面積17ha

### 荒廃した里山林



(整備前)



整備



(整備後)

整備活動参加者数 (H18~20)

延べ約 6,000 名

イベント参加者数 (H18~20)  
【里山林利用】

約 8,000 名



## Pickup!

### 活動報告 NPO法人山野草の里づくりの会 (桜井市)

山野草の里づくりの会では里山林を「子ども里山探検基地づくり」として整備しています。整備した里山林では日陰から脱出したウグイスカグラが花を咲かせ、ショウジョウバカマやシュンランも花を咲かせました。この豊かな里山の自然を子ども達に楽しんでもらい、自然保護の必要性を少しでも感じてもらえればと、「キッズ自然体験」などのイベントを開催しています。



秘密基地づくり



竹の滑り台



## Q 里山林ってなに？

私たちの暮らしの中で、かつて燃料や肥料に利用・活用することで、維持管理されてきた落葉広葉樹や竹林などの森林。(県内では主にコナラ、クヌギの落葉広葉樹やアカマツ林、竹林が該当します。)

昔はいろいろなことに  
利活用！



木材、竹、薬草



里山林は多くの生き物を  
育みます！

### 里山林は今どうなっているの？

#### コナラやクヌギなどの落葉広葉樹の今

コナラやクヌギなどの落葉広葉樹の幹は薪や炭などの燃料に、農業用の肥料のために利用されてきました。

しかし、昭和 30 年代から石油や石炭が燃料として使われるようになり、化学肥料の普及により次第に利用されなくなり、放置されるようになりました。



荒廃した広葉樹



荒廃した竹林

#### 竹林の今

竹林は、生活用具、農具、建材などの材料としての竹林やタケノコの生産など様々な用途に利用され日本人の暮らしに深く関わっていましたが、外国からの竹材、タケノコの輸入や代替品の普及により竹林の利用は減少し、次第に放置されるようになりました。

放置された竹林は、周囲の森林や農地などへ拡大し、急速に生長する竹によって、樹木の枯死や動植物の減少を招き、また、衰弱・枯死した竹が倒伏すると中に入ることができないほど荒れ果てていきます。

整備された里山林は、身近な自然とふれあう場として、緑が心にうるおいをもたらす場として、さらに生物の多様性を守る空間や人と鳥獣との生活の緩衝地帯を確保する場として利用が見込まれます。



整備された里山林



## 事業の効果

平成 18～20 年度の 3 年間で、延べ約 6,000 人のボランティアの方々が 57 箇所、17ha の県内里山林の整備に参加し、汗を流しました。ボランティアの方々がこの里山林や間伐した樹木・竹などを利用したイベントを行い、参加された約 8,000 人の県民の皆さまが森の恵みを満喫されました。

3 年間で延べ 1 万 3 千人を超える人が里山林に関わり、整備された里山林の周辺住民の方々や遊びに来られた都市住民の方々が里山林の効用を受けられました。

また、整備された箇所の植物の調査を行ったところ植物の種類は増加しました。整備されたことにより太陽の光が林内に入るようになったことが要因と思われます。一方で、里山林の地面が乾燥することによる植物の減少も考えられますので、これからも引きつづき調査していく必要があります。



森林環境をすべての県民みんなで守り育てるべき環境資源として捉え、子ども達をはじめ県民の皆さまに対する環境保全意識の啓発など、幅広い森林環境教育を進めます。

## 研修修了者数 (H18~20)

|    |       |
|----|-------|
| 基本 | 約100名 |
| 体験 | 約300名 |
| 林業 | 約50名  |
| 安全 | 約100名 |

## 指導者養成セミナー

森林や林業の大切さを伝える活動を行うために、指導者として必要な知識や技術を学んでいただきます。

- ① 基本的な指導者養成コース
- ② 実技中心の体験型コース
- ③ 本格的な林業技術習得コース
- ④ 森林ボランティア向け安全技術コース



## 副読本の配布

森林・林業への理解を深めるため、県内小学5年生に副読本を毎年配布します。



配布

紹介



## 学校での取り組み

森林体験学習が実施できる教員を養成するための研修講座や人材育成、各小学校で森林体験学習を行います。

### 講座参加者数 (H18~20)

約1,900名

### 森林体験学習実施校数 (H18~20)

約130校 H18~22で県内すべての公立小学校で実施

修了者

登録

## 人材・フィールドバンク

森林インストラクター、研修修了者等や森林を有する施設等をバンクに登録し、講師の派遣や施設の紹介をします。また森林体験学習に必要な道具・資材の貸出も行います。



派遣

## 体験学習の実施

基本的な指導者養成コースの受講修了者が行う森林体験学習の支援や、県の農林振興事務所等が森林体験学習「森の学校」を行います。

派遣・紹介

貸出

## イベント参加者数 (H18~20)

修了者実施 約1,200名 (19回)

森の学校 約7,700名 (50日)

成果の反映



派遣

紹介

# 森林環境教育の裾野の広がり

Pickup!

## 指導者養成セミナー

森林や林業の大切さを伝える活動を行うために、指導者として必要な知識や技術を学んでいただきました。

基本

※ インタープリテーション入門、実践



「地球温暖化と森林」、  
「森林環境教育」等の  
知識を学ぶ。



体験プログラムの実践。



研修修了生の活動報告  
会の開催。



グループに分かれ、それぞれが  
考えた企画を発表。



危険な動植物の知識を  
学ぶ。

※ インタープリテーション  
→ 参加者自身の興味を  
刺激し、関心を引きだ  
し、わかりやすく、楽し  
く解説するための方法

体験

自然素材を使った  
クラフトづくり

間伐木の伐採、搬出体験



安全上の注意や、木材や森林に興味を  
持つための実践方法を身につける。



研修修了生が  
イベントを開催!

## 事業の効果

平成 18~20 年度までの 3 年間に約 100 名あまりの方が指導者養成セミナー(基本コース)を受講し、それぞれの地域で森林環境教育の体験活動等を実施していただいています。

また、研修修了後、受講生の方々にはいろいろな形で交流を深め、それぞれの活動において参加・協力しあいながら、指導者養成セミナーを通じた人と人との繋がりも育ってきています。

今後は更にこれらの交流を通じて活動の輪が広がり、森林の環境保全意識を啓発する諸活動により、子どもたちをはじめとした県民の皆さまの環境意識が高まっていくことが期待されます。

### 研修受講者の感想

○私は森林環境に関する活動は未経験であり、従って学習実施も行ったことがありません。そこで本研修の参加者に森林ボランティア団体で活動している人がおられましたので早速その会の活動に参加させてもらうことにしました。今回折角顔見知りになった研修参加者とも情報交換しながら活動を深めていきたいと思えます。

○今後の活動の抱負としては、ネイチャーゲームやインタープリテーションという手法を通して子供から大人までさまざまな人に自然と接する機会を提供し、自然を理解してもらうことで、それがいかに大切なものか、壊れやすいものか、自分にはどんなことができるのかを感じて、考えてもらうきっかけづくりをしていきたいです。

【指導者養成セミナー基本コースで提出してもらった小論文より抜粋】

# Pickup!

## 森の学校

『親子で間伐材利用工作体験』(H19.8.19 東部農林振興事務所主催)では、まず「木材の良さ」を実験や展示物で学んだあと、実際に森林に入りスギの間伐を体験しました。子ども達は初めての間伐作業に緊張ぎみでしたが、伐り始めると必死になってノコギリを挽いていました。伐った木は加工センターで加工し、焼き印を押してオリジナルのコスターをつくりました。親子で間伐材を使った椅子づくりにも挑戦し、イベントを通じて、木材の良さや間伐の重要性についてしっかり学びました。

健康に良い

軽くて強い

火災に強い



「木材の良さ」を実験や展示物で学習

省エネ材料

リサイクル可能

CO2の貯金箱

世界でオンリーワンの椅子が完成!



子ども達が一生懸命間伐!



間伐体験

焼き印を押してできあがり☆



コスターづくり

丸棒加工～輪切り(見学)



玉切り体験



搬出体験



搬出した丸太がコスターの材料に!

あとはお父さん達にまかせて!



間伐材の椅子づくり

### 参加者の感想

- 木材の良い所を教えてください、間伐体験では山仕事の大変さを実感し、椅子作り・コスター作りでは木のぬくもりを感じながら、本当に楽しく家族の思い出を作ることができました。
- コスターの木の香りが良かった。木の家に住みたいです。

ほかにも森林や木に触れ合うイベントをいっぱい開催!



樹木観察



木製ハイブリッドカー試乗



モリゾーとキッコロと記念撮影



木工クラフト



野鳥観察



巣箱づくり



炭焼き体験



キノコ観察

Pickup!

## 森林環境教育技術者育成事業

森林を守り育てる意識を啓発し、人材を育成するため、県立吉野高等学校で間伐材を利用した実用的な製作実習を行いました。

### ログハウスの製作



森林科学科→ログハウスの加工・組立  
建築工学科→屋根の部分  
土木工学科→基礎部分を担当

近隣小学校に寄贈！

### 木製遊具の製作



木馬★



恐竜模型★



ココロツリー★

近隣幼稚園、小学校に寄贈！

Pickup!

## 森林環境教育体験学習推進事業

平成 18 年度から 5 年間で、県内すべての公立小学校で森林体験学習の在り方についての実践的な研究を行います。

### 森林体験学習を通して

- ① 森林のはたらきについて理解する
- ② 森林の現状や課題について理解する
- ③ 森林を守り育てようとする態度を身に付ける

### 主な体験先

- 県立野外活動センター
- 国立曽爾青少年自然の家
- 森と水の源流館
- その他 学校周辺の里山など



### 主な取り組み活動



間伐体験



下草刈り体験



森林散策



間伐材を利用した工作

### 森林環境教育の拠点 県立野外活動センター

県立野外活動センターでは平成 18～20 年度までに、57 校、4,400 名の児童が森林体験学習に訪れました。人気のアクティビティである伐採見学、ヒノキの皮むき、丸太切りは林業の様子を体験するとともに、森林を元気にすること、木を伐ったり、使ったりすることの大切さを考える機会とするなど、活動を通じて一方的に教えるだけでなく、参加者自ら感じ、考えることができるような活動の支援を行っています。



森林ハイキング



ヒノキの皮むき



丸太切り

## 事業の効果

平成 18～20 年度までの 3 年間で、131 校の小学校が地域の里山や森林、また県立野外活動センター等の施設を利用して、森林環境教育体験学習に取り組みました。

この体験学習を通して、児童たちは森林を身近に感じ、森林を大切にしようとする気持ちや守り育てようとする態度が育ってきています。

○森林は人間の手で切らないといけないということに驚いた。自然のままでほっておくだけだいいと思っていたが、人間が管理することが、自然を守ることにつながるんだとわかった。

○これからも森林のことをもっと知って、他の人たちにも森林の大切さを伝えていかなければいけないと思った。なぜなら森林を守るということは、人や動物の生活を豊かにすることにつながるからです。【児童の感想(抜粋)】

## 資料編

### 奈良の元気な森林づくり推進事業

#### 年度別事業実績

| 年度                 | H18 | H19 | H20 | 計  |
|--------------------|-----|-----|-----|----|
| 間伐マネージャー<br>配置数(人) | 23  | 27  | 21  | 71 |

### 森林環境保全緊急間伐事業

#### 年度別事業実績

| 年度         | H18 | H19 | H20 | 計     |
|------------|-----|-----|-----|-------|
| 間伐実施面積(ha) | 538 | 810 | 687 | 2,035 |

### 里山林機能回復整備事業

#### 年度別事業実績

| 年度        | H18 | H19 | H20 | 計  |
|-----------|-----|-----|-----|----|
| 整備実施箇所数   | 16  | 20  | 21  | 57 |
| 整備面積計(ha) | 4   | 6   | 7   | 17 |

#### 整備実施団体

- NPO 法人きゃんす家(奈良市 H18～20)
- 緑の会(奈良市 H18～20)
- 中山同友会(天理市 H18～20)
- 生駒里山を守る会(生駒市 H18～20)
- 向渕さとやま遊友クラブ(宇陀市 H19～20)
- 平群里山クラブ(平群町 H19～20)
- 虫いっぱい<sup>の</sup>里山づくり隊(橿原市 H18～20)
- NPO 法人山野草の里づくりの会(桜井市 H18～20)
- 百体観音里山クラブ(御所市 H18～20)
- 竹内自然を愛する会(葛城市 H18～20)
- 神野山グリーンクラブ(山添村 H18～20)
- 都祁の里山を守る会(奈良市 H18～20)
- NPO 法人やまと新発見の会(大和郡山市 H18～20)
- いこま棚田クラブ(生駒市 H18～20)
- いこま里山クラブ(生駒市 H19～20)
- 鳴川を守る会(平群町 H18～20)
- いかるがの里・自然クラブ(斑鳩町 H18～20)
- NPO 法人奈良ネイチャーネット(橿原市 H20)
- 若葉会(御所市 H18～19)
- グリーンボランティアならクラブ(香芝市 H20)
- 山里を愛するものの集い(葛城市 H19～20)
- “夢”町づくり大淀(大淀町 H18～20)

年度別事業実績

| 実施内容              |                             | H18                                       | H19                                       | H20                                       |
|-------------------|-----------------------------|---|---|---|
| 指導者養成<br>セミナー     | 基本的な指導者養成研修                 | 1回開催<br>27人参加                             | 2回開催<br>48人参加                             | 2回開催<br>38人参加                             |
|                   | 実技中心の体験型研修                  | 3回開催<br>計44人参加                            | 10回開催<br>計104人参加                          | 10回開催<br>計146人参加                          |
|                   | 林業技術修得研修                    | 1回開催<br>28人参加                             | 1回開催<br>11人参加                             | 1回開催<br>10人参加                             |
|                   | 安全作業技術研修                    | —   | 3回開催<br>56人参加                             | 3回開催<br>40人参加                             |
| 体験学習の実施           | 指導者認定申請                     | 21人                                       | 40人                                       | 35人                                       |
|                   | 研修修了生が森林体験学習を実施             | 8回開催<br>482人参加                            | 8回開催<br>647人参加                            | 3回開催<br>109人参加                            |
|                   | 「森の学校」開催                    | 延14日開催<br>2,665人参加                        | 延17日開催<br>2,847人参加                        | 延19日開催<br>2,128人参加                        |
| 副読本の配布            | 森林林業への理解促進のため小学校5年生に配布、活用   | —   | 小学校5年生<br>14,600部                         | 小学校5年生<br>15,500部                         |
| 人材・フィールド<br>の支援   | 人材バンクの登録と派遣                 | 86人登録                                     | 延167人登録<br>派遣46人                          | 延207人登録<br>派遣22人                          |
|                   | フィールドの登録                    | 44施設                                      | 延46施設                                     | 延55施設                                     |
| 森林環境教育指導資料の作成     | 奈良らしい森林環境教育の在り方の検討と学習指導資料作成 | 協議会<br>3回開催                               | 協議会<br>2回開催                               | 協議会<br>2回開催                               |
| 森林環境教育<br>体験学習の推進 | 森林環境教育体験学習推進校の指定            | 48校<br>99クラス                              | 45校<br>97クラス                              | 38校<br>99クラス                              |
|                   | 学習プログラムの作成や体験学習に必要な備品等の整備   | 学習プログラム<br>500部作成・配布、機器整備                 | 学習プログラム<br>500部作成・配布、機器整備                 | 学習プログラム<br>500部作成・配布、機器整備                 |
| 教員現地研修の実施         | 森林体験学習を実施できる指導者となる教員の養成     | 8回開催<br>682名                              | 13回開催<br>666名                             | 14回開催<br>581名                             |
| 技術者育成             | 吉野高校の生徒による木材製品の製作と林業体験実習    | 間伐材ベンチ、ログハウス、木製玩具等製作<br>間伐・枝打ち体験、林業機械操作実習 | 間伐材ベンチ、ログハウス、木製玩具等製作<br>間伐・枝打ち体験、林業機械操作実習 | 間伐材ベンチ、ログハウス、木製玩具等製作<br>間伐・枝打ち体験、林業機械操作実習 |



## 7月第3月曜日は「奈良県山の日・川の日」、 夏休みは「山と森林の月間」です！

奈良県では、7月の第3月曜日を「奈良県山の日・川の日」と定め、さらに、夏休み期間を「山と森林の月間」として、期間中は県内各地で様々な山や森林に親しむイベントを開催し、県民の参加による森づくりを進めています。



### 【お問い合わせ】

奈良県農林部林政課

TEL : 0742-27-7471

FAX : 0742-24-5004

林政課 HP : <http://www.pref.nara.jp/rinsei/>